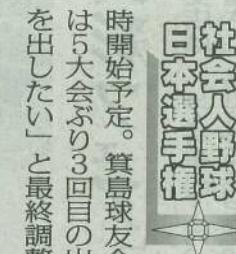


箕島球友会

いい結果出したい

あす 強豪、ホンダと初戦



大阪市西区の京セラドーム大阪で開催中の社会人野球日本選手権大会(毎日新聞社・日本野球連盟主催)第5日の来月1日、和歌山箕島球友会が登場する。相手は強豪のホンダ(埼玉)で、第3試合午後6時開始予定。箕島球友会は、9月に全日本クラブ野球選手権大会で優勝を果たし、日本選手権は5大会ぶり3回目の出場となる。選手たちは「全国のクラブチームの代表として、いい結果を出したい」と最終調整に余念がない。

柱不在の本番「主将の分まで」

本番を3日後に控え
た29日午後5時半、日
も暮れる中、箕島球友
に選手たちが続々と集
の選手は、チームを支

免許・安心・特定教習所
公安委員会 特定教習所
ドライビング有功
ローン可・補習料なし
AT 115,500円 MT 136,500円
TEL: 073-461-3131
http://www.ds-isao.net/

援するスーパーでの仕事
事を終えてからの練習だ。「いかに守りきり、
少ない点で勝つか。投手を中心と守備重視の
自分たちの野球をした

性脱臼骨折と診断され
た。今もチームを離れて御坊市内の病院に入
院し、1日6時間のリハビリに励んでいる。

チームの柱が不在と
いう事態に、「最初は不安だった」と水田信一郎副主将(25)は振り返る。しかし、いざ練習を始めると、誰かが指示を出さなくとも、

約4時間半の緊急救術。全治5ヶ月の開放
つれて、選手たちは「庄中央の分まで頑張って勝
取ろう」と思い切りジャンプし、着地がうまく
いかず、左足首を骨折した。ドクターへりで
県立医大付属病院(和歌山市)に搬送され、
10月5日の練習試合中、大北主将はライト
フェンス直撃の打球を

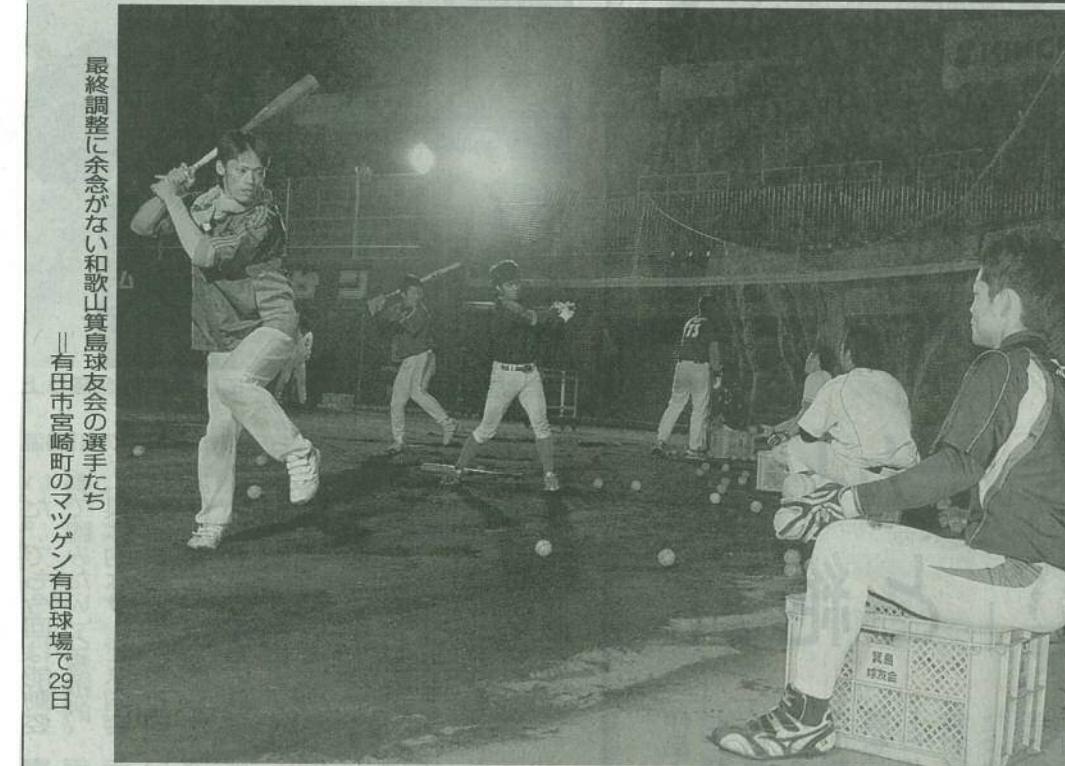
主将(25)の姿はなかった。
「一生懸命や
らな、主将に怒られる
ぞ」と声が飛ぶことも
ある。本番が近づくに
つれて、選手たちは「庄
中央の分まで頑張って勝
つぞ」と意気込みを強
くしていった。

全日本クラブ野球選手権大会で最高殊勲選手賞に輝いた三宅悠

監督は「選手の調子は日々
とに上がってきている。
日本選手権には最
高の状態で臨める」と
話す。

ホンダ戦では、大北
主将は松葉づえをつき
ながらベンチ入りする

地元有田の人たちも
応援団を編成して駆け
つけることも決まり
た。山口副主将は誓う。
「周囲のおかげで野球
ができる。感謝の
気持ちを持って全力を
込む。」



最終調整に余念がない和歌山箕島球友会の選手たち
（有田市宮崎町のマツゲン有田球場で29日）



ボールを使って懸命にリハビリに励む大北匠央主将
—御坊市の病院で

こんな時こそ「尾藤スマイル」



故・尾藤公さん



和歌山箕島球友会 大北匠央主将(25)

左足のリハビリに励む大北匠
央主将=和歌山県御坊市で

大会直前に左足骨折

大北主将。「チームワークとは信頼だ」。名将の教えを胸に、入院先の病院から京セラドーム大阪(大阪市西区)に駆け付ける。(4面参照)

1日の社会人野球日本選手権第3試合に登場する和歌山箕島球友会(和歌山)の大北匠央主将(25)はベンチから仲間を鼓舞する。大会直前に左足を骨折したからだ。高校球界の名将・故尾藤公・箕島高元監督に憧れ、将来は指導者を志す

た。ピンチでも笑顔を絶やさない「尾藤スマイル」で知られる尾藤元監督は箕島高で、1979年の春夏連覇を含め4回の全国制覇を果たし、箕島球友会の顧問も務めた。

大北主将は奈良県出身。大分県別府市明豊高校、別府大を経て、高校野球の指導者を目指

た。今大会を控えた10月5日、和歌山県有田市の球

チームをまとめた力を

買われ、昨年11月に主将

に抜きされたが、今回

の負傷。自暴自棄になる

こともあるが、指導者に

なるために必要な経験だ

と言いたい。大北主将は「いつも

通り、ベンチで先頭に立

つてチームを盛り上げ

る」と力強く話した。

(道岡美波、写真)

さくら
みやこ

社会人野球
日本選手権

島高OBが中心となつて
1996年に創設され

和歌山箕島球友会は箕
島高OBが中心となつて
1996年に創設され